

海外製品について

海外の検品基準で製造されている為、日本製品と比較して「部品の噛み合わせが悪い」「糸の不始末など仕上がりが荒い」「小さな傷がある」等、**使用において問題がない範囲の不具合がある場合があります。**

上記の理由での交換対応等にはお応えできない場合がありますので予めご理解の程よろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず説明書の内容をご確認ください。また、この説明書はお手元に大切に保管してください。イラストは説明のため、実物と異なる場合があります

安全上の注意

人やペットへの危害、財産への損害を未然に防ぐ為、必ずお守りいただく事を説明しています。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

警告

誤った取扱いをした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。

- ・開封後、梱包材は適切に処分してください。窒息等の危険があるので、お子様やペットがビニール袋で遊ばないようにご注意ください。
- ・長期間（3日間以上）留守にする場合は本製品を使用せず、ペットホテル等を利用してください。
- ・構造上、給餌量が設定より多い（少ない）ことがあります。食事療養や食事制限をしているペットには使用しないでください。
- ・ホッパー（タンク）はペットフードを保存するようには作られていません。必要な分だけ入れて使用してください。
- ・生後7ヶ月未満、または病気のペットには使用しないでください。

注意

誤った取扱いをした時に、軽傷または家屋・家財等の損害に結びつくもの。

- ・ご使用前に必ず破損や異常がないかを確認して下さい。異常が見つかった場合は使用しないでください。
- ・本製品はペットの給餌用品です。ペット以外、本来の用途以外に使用しないでください。
- ・本製品を使用中に、ペットまたは本製品に異常が見られた場合はただちに使用をお止めください。
- ・本製品を揺すったり、叩いたりするとフードが給仕口からこぼれてくる場合がありますのでご注意ください。

重要

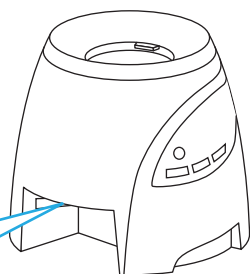
誤った取扱いをした時に、製品の破損や変形、製品寿命の縮小に結びつくもの。

- ・火のそばや直射日光の当たる場所、高温多湿になる場所に置かないでください。
- ・本製品を踏んだり、重い物を乗せたりしないでください。
- ・定期的に本製品の点検・清掃を行ってください。

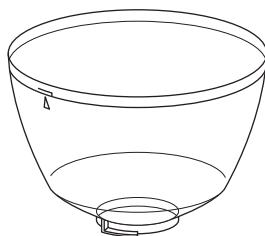
梱包内容

パーツを確認のうえ不良品、不足等がありましたらご連絡下さい。該当部品をお届けします。

隙間を透明な棒で埋めています。フードがこぼれない様にするための処置ですので外さないでください。



本体：1台



ホッパー：1個



フタ：1個



フードトレイ：1個

電池は付属していません

初期不良の対応について

開封時に**動作不良・部品不足等の初期不良**がございましたら、お手数ですが**お買い上げから一週間以内**にご連絡ください。該当部品を交換または発送させていただきます。

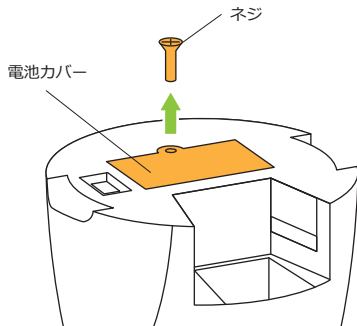
開封時に**破損があった場合は三日以内**に商品配達された**運送会社の営業所**へご連絡ください。

※修理保証に関しては付属の保証書をご覧ください。

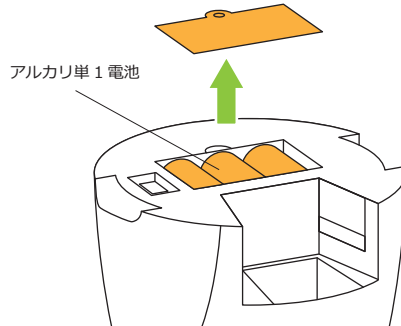
電池の交換

注意 組み立てはファスナーやバックルに指等を挟まないよう、注意して行って下さい。

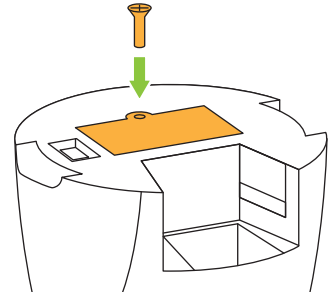
必ず**アルカリ単1電池**をご使用ください。マンガン電池、充電式電池だと正常に動作しない場合があります。また、新しい電池と古い電池・種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。



1 本体裏の電池カバーのネジを外します。※プラスドライバーは別途ご用意ください。



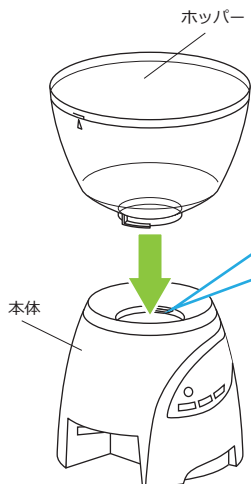
2 電池カバーを外し、電池を入れます。※電池の向きに注意してください



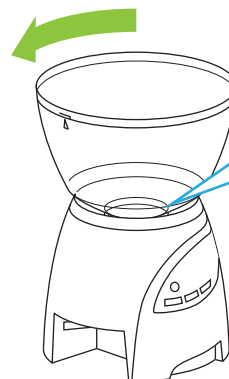
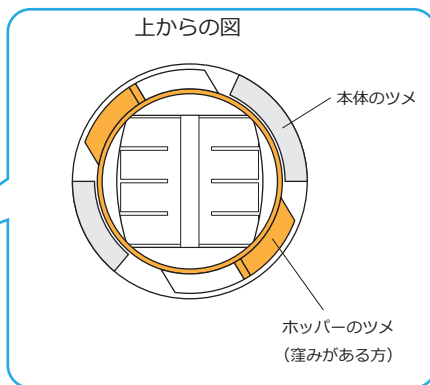
3 電池カバーを戻し、ネジを締めます。

組み立て方

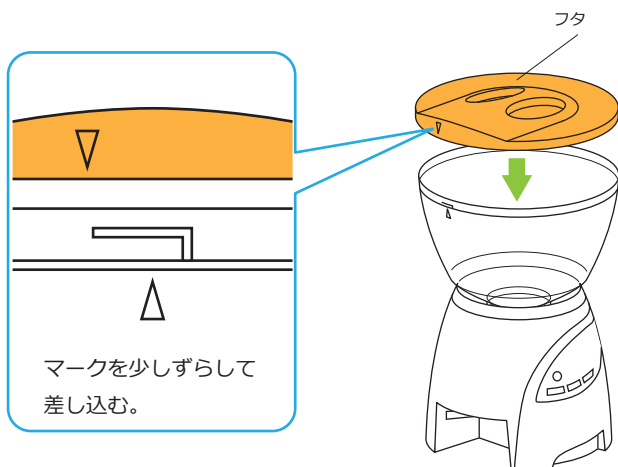
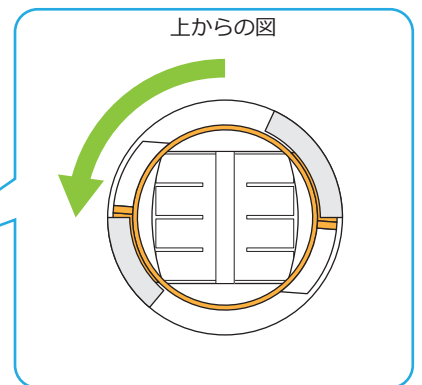
注意 組み立てはファスナーやバックルに指等を挟まないよう、注意して行って下さい。



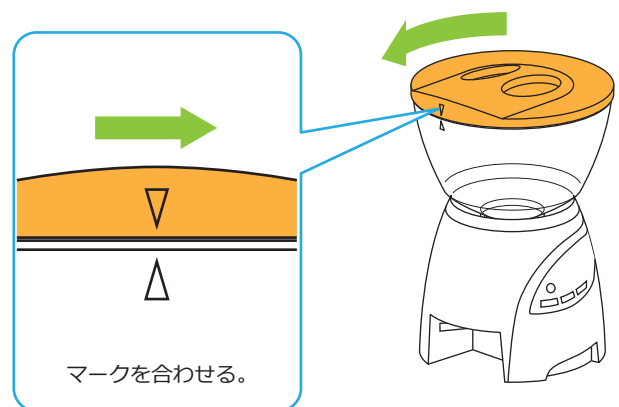
1 ホッパーを本体に差し込みます。※右図参照



2 ホッパーを左に回し固定します。※右図参照



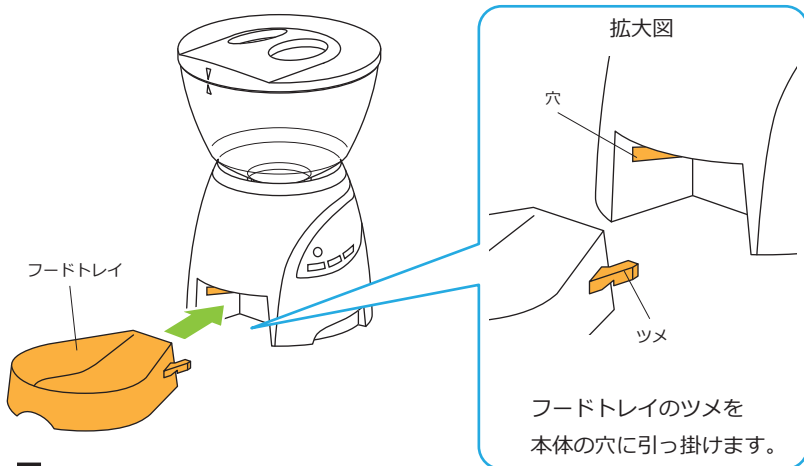
3 フタをホッパーに取り付けます。※左図参照



4 フタを左に回して固定します。※右図参照

組み立て方

⚠ 注意 組み立ては隙間に指等を挟んだり、フチで指を切らないよう注意して行って下さい。



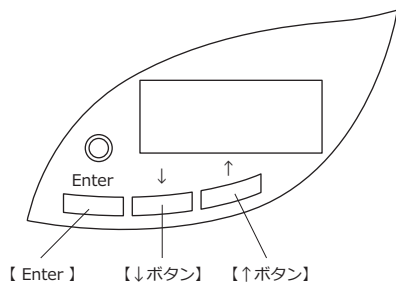
5 フードトレイを本体に取り付けます。
※右図参照



6 組み立ては完了です。

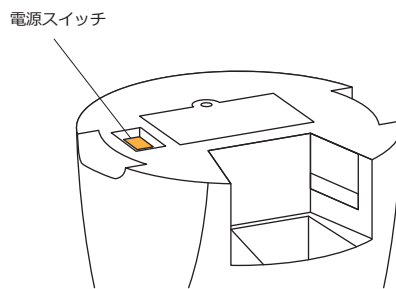
現在時刻の設定

現在時刻は電源を入れるたびに設定が必要です。
※現在時刻の設定は電源を切ると初期化されます。



【Enter】 【↓ボタン】 【↑ボタン】

ボタンの配置は上図のようになっています。

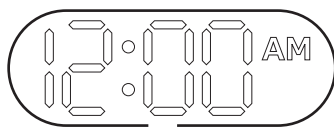


電源スイッチ

本体裏の電源スイッチを ON にします。

※ I が ON、O が OFF です。

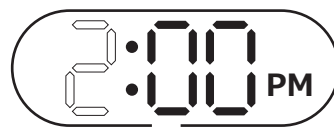
2 分間ボタン操作が行われないと待機状態になります。
電源を入れ直すか、待機状態中に Enter を押すと再度現在時刻の設定ができます。



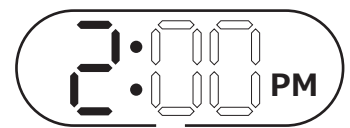
1 「12 : 00 AM」の表記が点滅するので Enter を押します。



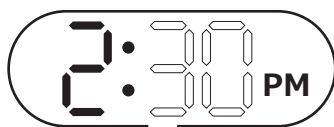
2 「時間」が点滅するので「時間」を ↓ ボタンと ↑ ボタンで合わせます。



3 「時間」を合わせたら Enter を押します。
※AM・PM を間違えないよう注意してください。



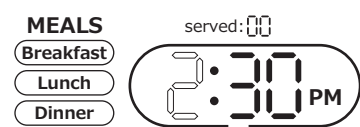
4 「分」が点滅するので「分」を ↓ ボタンと ↑ ボタンで合わせます。



5 「分」を合わせたら Enter を押します。



6 上図のような場面になったら時刻合わせの完了です。以降この状態を「待機状態」と呼びます。



待機状態の時に Enter を押すと「時間」が点滅し、現在時刻の修正ができます。
操作方法は 2 から進めてください。

給餌時刻の設定

2 分間ボタン操作が行われないと待機状態になります。

設定途中で待機状態に戻ってしまった場合はやり直してください。

また、給餌時刻の設定は本体に保存されますので、電源を入れなおしても再設定の必要はありません。

【給餌時間設定モードの起動】



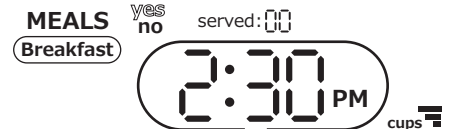
- 1 待機状態の時に Enter を長押し (3 秒以上) すると、「MEALS」が点滅します。

【設定する時間帯の選択】



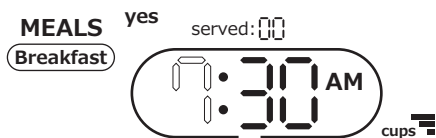
- 2 ↑ボタンと↓ボタンで設定したい時間帯の表記を選び、Enter を押します。(選択中の時間帯が点滅します)

【選択した時間帯に給餌するかどうかの設定】



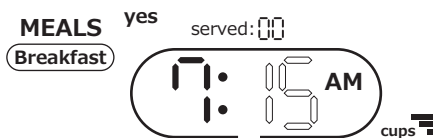
- 3 「yes」または「no」が点滅するので ↑ボタンと↓ボタンで給餌するなら「yes」、給餌しないなら「no」を選び Enter を押します。

【時間の設定】



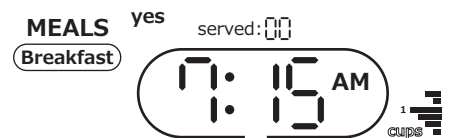
- 4 「時間」が点滅するので ↑ボタンと ↓ボタンで「時間」を合わせて Enter を押します。(AM と PM に注意してください)

【分の設定】



- 5 「分」が点滅するので ↑ボタンと ↓ボタンで「分」を合わせて Enter を押します。

【給餌量の設定】



- 6 「cups」が点滅するので ↑ボタンと ↓ボタンで給餌量を調節して Enter を押します。

給餌量の目盛りについて

1 目盛りがおよそ 53cc (約 1/4 カップ) です。最大 12 目盛り (約 3 カップ) まで設定できます。

※構造上、実際の給餌量にはバラつきがあるので食事療法や食事制限を行っているペットには使用しないでください。

【給餌時間設定モードに戻る】

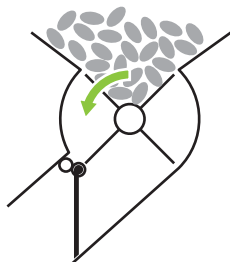


- 7 給餌時間設定モードに戻り「MEALS」が点滅します。他の時間帯の設定も行う場合は同様の操作 (2 から) で設定します。(設定中も現在時刻は経過します)

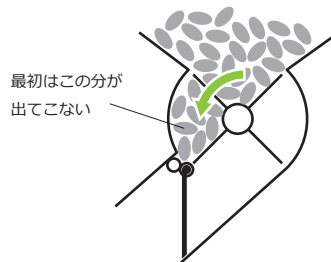
【給餌時間設定モードの終了】



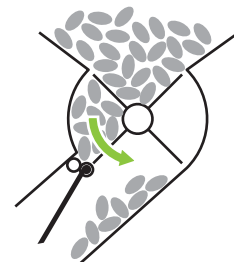
- 8 「MEALS」が点滅している時に Enter を押すと給餌時間設定モードが終了します。(2 分間ボタン操作が行われなかった場合も給餌時間設定モードが終了します)



給餌時刻の設定完了後や空の状態からフードを追加した時は、一度手動で給餌動作を行ってください。



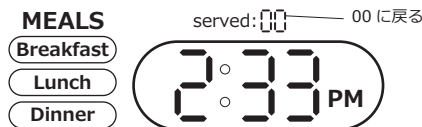
上図のように一番最初の給餌は 1 目盛り分少なくなります。



給餌回数と回数のリセット



現在時刻の上の served の横の数字が
今までの給餌回数です。
きちんと給餌が行われているか等の
確認にご活用ください。



↑ボタンと↓ボタンを同時に3秒以上
長押しすると、数字をリセットできます。
また、99回を超えても00に戻ります。

手動の動作

↑ボタンを長押し（3秒以上）すると手動で給餌動作を行う事ができます。
給餌量は「Breakfast」に設定されている給餌量で動作します。
（Breakfast が「給餌しない」設定の場合は Lunch の設定量が出てきます）
手動で給餌を行った際も給餌回数にカウントされます。

排出動作

↓ボタンを長押し（3秒以上）すると排出動作を行う事ができます。
設定に関わらず15目盛り分ほどのフードを排出するので、ホッパー
を空にしたい時などにご活用ください。
この動作も給餌回数にカウントされます。

お手入れ方法

長くお使いいただく為に、定期的にお手入れを行って下さい。

- ・本体が汚れてきた時は絞った布巾などで拭いてください。（電子部品があるので水洗いはできません）
- ・フードトレイ、ホッパー、フタは水洗いできます。柔らかいスポンジを利用し、クレンザーや金たわしは使用しないでください。
- ・熱湯や漂白剤、食洗機は使用できません。

こんな時は…

Q: 待機状態中に Berakfast・Lunch・Dinner のうち、表示されていないものがある

A: 給餌をしない設定になっている時間帯は待機状態中、表示が消えます。

Q: Berakfast・Lunch・Dinner のうち、点滅している表示がある。

A: その時間帯に設定された給餌が、餌づまり等で正しく完了されなかった場合に点滅します。餌づまりがないか確認した後、一度電源を切り、再度電源を入れ現在時刻の設定を行ってください。また、頻繁に餌づまりを起こす場合は餌の大きさや形状を替えてみてください。

Q: 設定した給餌時間になると現在時刻設定画面（電源を入れた時の画面）になってしまう。

A: 電池の残量が少なくなると起こる現象です。（液晶を表示する電力は残っているが、モーターを動かすほどの電力が残っていないので一旦電源が切れてしまう）電池を新しいものに交換してください。また、アルカリ電池以外の電池を使用していると同様の現象が起こる時があります。

Q: 設定した給餌時間になってもフードが出てこない

A: フードが詰まったりしていないか確認した後、手動動作で給餌を行ってください。

- ・フードが出てきた・・・給餌時間設定、または現在時刻の AM/PM を間違えていませんか？設定画面で確認して下さい。
- ・フードが出てこない、またはモーターの動作音がしない・・・修理が必要です。付属の保証書（有効期限：お買い上げから1年）を同封し修理品を下記住所まで送ってください。

製品情報

製品の的外観、および仕様は予告無く変更する場合がございます。

サイズ：幅36×奥25.5×高35.5cm
重量：1.2kg
材質：【本体】ABS樹脂、ポリプロピレン
【ホッパー】ポリスチレン
生産国：中国
企画/デザイン：アメリカ
メーカー：Aspen Pet

【輸入元】



OFT CORPORATION

株式会社オーエフティー

〒666-0024
兵庫県川西市久代 1-27-5
Tel:072-744-1017
Fax:072-744-1018
E-mail:oft-info@onyx.ocn.ne.jp

受付時間 月～金 9:15～17:00
土 9:15～12:00
(第3土曜、日祝は休み)